

概要説明書(その2)

新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)	※登録No.	1901003A
新技術の概要 ※検索結果に表示する技術の概要です(全角120文字以内)			
橋梁用伸縮継手工事の補修工事において、脆弱化したコンクリート床版クラック部を、浸透性KSプライマーで補修し、その後DS骨材とバインダーと化学繊維をミックスした特殊合材を現場にて舗設し、伸縮性・追従性に優れた埋設ジョイントである			
新技術の概要			
①何について何をする技術か？ ・橋梁用伸縮継手装置において、脆弱化した床版クラック部の補修を兼ね備えた、埋設ジョイントである。			
②従来はどのような技術で対応していたか？ ・埋設型ジョイント(舗装厚内型)			
③公共工事のどこに適用できるか？ ・設計伸縮量が40mm以下の橋梁で、鋼橋・PC橋・RC橋等に適用が可能である。			
新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)			
従来の埋設型ジョイント(舗装厚内型)に比べ、床版に発生したマイクロクラックの補修を浸透性KSプライマーで行い、伸縮性がある特殊合材に化学繊維を配合し舗設することにより、埋設ジョイントの耐久性の向上につながる。			
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) ・上部舗装部に付着性が強い特殊性合材を使用し、床版上にゴムシートを敷設することにより低温時に優れた伸縮性の特性を持つ。			
②期待される効果は？(新技術活用のメリットは？) ・特殊合材とゴムシートによりスムーズに伸縮に対応することができ、ジョイント端部のクラックを低減。・防水性に優れており、クラックの発生を抑制し橋梁の長寿命化に貢献。・プライマーが不要となり作業時間が短縮。			
適用条件			
①自然条件 ・施工時の外気温は5℃以上(寒冷地も対応可能) ・施工面が乾燥していること			
②現場条件 ・作業ヤードが必要。20m×3m=60㎡程度 ・取替工の場合、1車線毎の交通規制が必要			
③技術提供可能地域 ・全国			
④関係法令等 ・特になし			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その3)

新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)	※登録No.	1901003A
適用範囲			
<p>①適用可能な範囲（公共工事への適用性は必ず記入する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計伸縮量40mm以下 遊間75mm以下 施工幅300mm～400mm 施工厚さ 50mm～150mm(標準厚さ75mm)斜角30度以下の橋梁車道部 ・歩道部も上記と同様 <p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮性・防水性が高いためジョイント部の漏水対策が必要な箇所 ・騒音対策が必要な箇所 <p>③適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の範囲 			
ニーズへの対応			
<p>①社会的ニーズへの対応</p> <p>ジョイント前後の舗装と一体化するので、車両通行時の騒音・振動が軽減される。</p> <p>②県土整備部発注工事への対応(道路、河川、ダム、港湾、海岸、砂防、地すべり、急傾斜地に関する事業)</p> <p>設計伸縮量が40mm以下の橋梁で、鋼橋・PC橋・RC橋等に適用が可能である。</p>			
留意事項			
<p>①設計時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用条件内であること ・土木工事設計要領に準拠すること <p>②施工時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場で特殊合材を製造、施工→バインダー材、合材の温度管理に留意。バインダー溶解には自動温度管理機能付、専用溶解機使用・バインダー溶解機、ロケットミキサー、小型転圧機、転圧ローラ、プロパンガスバーナー等 <p>③維持管理時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MM-JOINT・DS型(EQM-J)施工要領書による・受注後1週間程度で納入可能である 			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その4)

新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)	※登録No.	1901003A
--------	-----------------------	--------	----------

活用の効果				
比較する従来技術	埋設型ジョイント(舗装厚内型)			
項目	活用の効果			比較の根拠
経済性	<input type="radio"/> 向上 ()	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下 ()	
工程	<input type="radio"/> 短縮 ()	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 増加 ()	
品質	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input checked="" type="radio"/> 低下	現地施工のため、工場製品と比べ若干品質は劣ります。
安全性	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	
施工性	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	
環境保全	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	

基準数量	7	単位	m
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値1-A/B(%)
経済性	644,040 円	644,040 円	0%
工程	1 日	1 日	0%

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その5)

新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)	※登録No.	1901003A
--------	-----------------------	--------	----------

活用の効果の根拠

●新技術の内訳

基準数量: 7.2m あたり

項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘要
舗装厚内型 2車線相当(7.2m標準)施工手間	伸縮量40mm以下	7	m	48,200	347,040	市場単価引用 7.2m
本体材料費(7.2m×0.4m×0.075m)	特殊合材(副資材も含む)	0.22	m3	1,350,000	297,000	市場単価引用 0.22m3
合計					644,040	

●従来技術の内訳

基準数量: 7.2m あたり

項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘要
舗装厚内型 2車線相当(7.2m標準)施工手間	伸縮量40mm以下	7	m	48,200	347,040	市場単価引用 7.2m
本体材料費(7.2m×0.4m×0.075m)	特殊合材(副資材も含む)	0.22	m3	1,350,000	297,000	市場単価引用 0.22m3
合計					644,040	

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その6)

新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)	※登録No.	1901003A
施工単価	<input type="radio"/> 歩掛りなし <input checked="" type="radio"/> 歩掛りあり (歩掛り種別) <input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 暫定 <input type="radio"/> 協会 <input type="radio"/> 自社		
積算条件			
<ul style="list-style-type: none"> ・既設橋梁の伸縮装置(舗装厚内型)7.2m 伸縮量40mm 遊間75mm 幅400mm 厚さ75mmとする ・施工手間及び材料費は市場単価を引用する ・交通規制は含まず 			
施工方法			
<p>施工手順(既設取替の場合)</p> <p>①既設ジョイント撤去・既設舗装面を切断後、人力にて既設ジョイントを撤去する</p> <p>②浸透性KSプライマー塗布工・床版に発生したマイクロクラックに、浸透性KSプライマー(0.6kg/m²)を塗布し床版の補修を行う</p> <p>③KSホント塗布工・浸透性KSプライマー塗布後、速やかにKSホントを塗布(0.9kg/m²)する</p> <p>④リフレモタルSF打設・施工基面に凹凸がある場合は、リフレモタルSF(超速繊維補強モルタル)20mm以上～50mm未満で平坦になるようコテで仕上げる</p> <p>⑤バックロッド設置・二次止水機能兼バックロッド材を遊間部に設置する</p> <p>⑥バインダー塗布・施工基面・既設舗装立上り部にバインダーを塗布する</p> <p>⑦特殊合材製造・回転ドラムミキサーなどにDS骨材を投入し150℃～180℃になるようガスバーナー等で加熱・加熱されたDS骨材に、化学繊維(0.5%)を添加・加熱されたDS骨材に、所定の温度に加熱されたバインダーを投入する</p> <p>⑧特殊合材舗設・特殊合材を厚さ50mm以下で敷均しする ⑨転圧・ダンパーで初期転圧し、振動ローラで仕上げ転圧する ⑩表面散布骨材・散布用骨材を均一に散布し、振動ローラで圧入する ⑪完成</p>			
残された課題と今後の開発計画			
①課題 ・特になし			
②計画 ・特になし			
施工実績	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
福岡県が発注した工事	件		
他の公共機関が発注した工事	5 件		
民間等が発注した工事	件		

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その7)

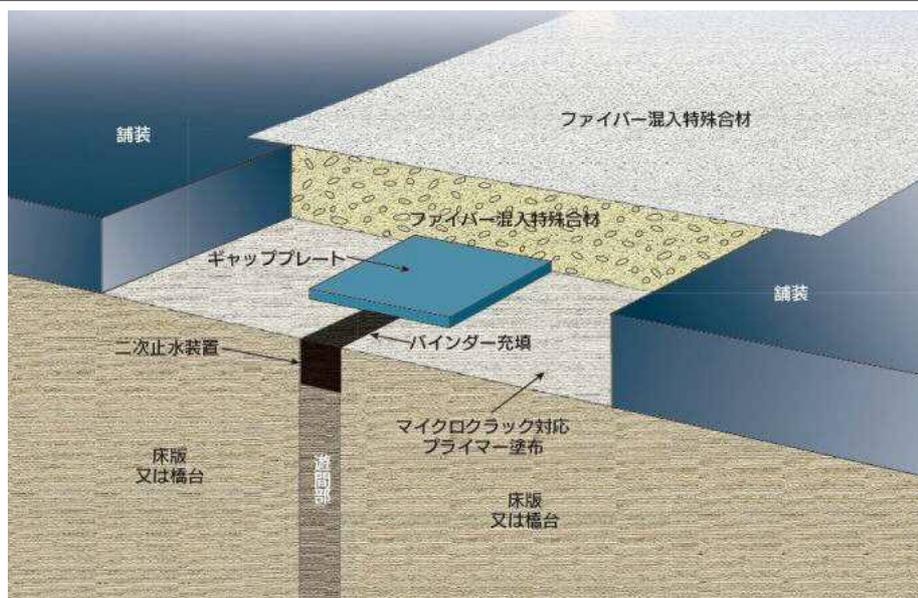
新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)				※登録No.	1901003A
特許・実用新案					番 号	
特 許	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし		
実用新案	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし		
他の機関による 評価・証明	証明機関					
	制度名					
	番号					
	評価等年月日					
	証明等範囲					
	URL					
添付資料						
<p>○実験資料等</p> <p>・ホイールトラッキング試験・チェーンラベリング試験・すべり抵抗値試験・浸透性エポキシ樹脂接着剤の性能試験(温水負荷後の付着強度試験)・輪荷重走行疲労実験</p> <p>○積算資料等</p> <p>・土木コスト情報 ・施工手間及び材料費は市場単価を引用する。</p> <p>○施工管理方法資料等</p> <p>・施工管理要領書</p> <p>○出来形管理方法資料</p> <p>・施工管理資料</p> <p>○その他</p> <p>参考文献 ・RC床版上の上面損傷に用いる補修材の提案及び補修サイクルにおける耐疲労性の評価 ・2タイプの接着剤を塗布したRC床版の上面補修法の耐疲労性の評価および施工技術</p>						
参考資料						
<p>添付資料①積算資料 添付資料②リーフレット 添付資料③施工実績一覧表 添付資料④ホイールトラッキング試験 添付資料⑤すべり抵抗及びラベリング試験 添付資料⑥現況写真 添付資料⑦バインダー成分表+配合表 添付資料⑧施工要領書 添付資料⑨施工管理資料 添付資料⑩比較工程表 添付資料⑪MSDS</p>						

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その8)

新技術の名称	MM-JOINT DS型(EQM-J工法)	※登録No.	1901003A
--------	-----------------------	--------	----------

概要図、写真等



施工完了1



施工完了2

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その9)

新技術の名称		MM-JOINT DS型(EQM-J工法)		※登録No.	1901003A
施工実績一覧					
区分	発注者	地域機関名	施工時期	工事名	CORINS登録No.
県内における 施工実績	大牟田市		2017.2	大正橋補修工事	
	大牟田市		2018.5	大桁線 大桁橋外1橋補修工事	
	大牟田市		2019.2	唐船清六町線 高島橋外2橋補修工事	
	大牟田市		2019.2	田隅通町1丁目線 下田崎補修工事	
	大牟田市		2019.2	栄町1丁目本町2丁目線 思案橋補修工事	
県外における 施工実績	長崎河川国道事務所	九州地方整備局	2018.02	長崎河川国道事務所事務所管内橋梁補修工事	4032780877
	公共機関	杉並区役所	2016.05	橋梁長寿命化修繕工事(その1)	4026436933
	公共機関	富山市役所	2017.06	第6号橋伸縮継手補修工事	4030329783
	公共機関	富山市役所	2017.07	中屋号橋伸縮継手補修工事	4030766875
	公共機関	熊本市都市建設局西部土木センター	2017.10	市道二本木2丁目新大江1丁目第1号線(田崎橋)橋梁補修工事	4031803446

※の欄は、記入の必要がありません。